

2012年7月4日

## 平成24年度全国安全週間 社長安全パトロール実施される

戸田建設（社長：井上舜三）は、全国安全週間の初日にあたる7月2日、「地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター新築工事作業所」（東京都板橋区）にて、社長による安全パトロールを実施しました。社長自ら率先して作業所の安全点検を行うことにより、安全衛生管理の重要性を全職員に発信し、自社の安全文化の醸成を図るものです。

朝礼では「ラジオ体操」、「肩たたき・肩もみ」に始まり、新規入場者の自己紹介、安全当番による当日の立入り禁止箇所と安全指示事項の伝達に続いて、当社が8年前から継続している「一人KY活動」の実施状況を確認しました。この活動は、一人ひとりがその日の作業について、事故・災害に繋がりにくい危険な状況をイメージしながら見つけ出し、予めそれに対する防止対策を考えて作業にあたるもので、危険に対する感受性を高めるという効果が期待できます。

朝礼時の挨拶の中で社長は、「当社の歴史は、社員と働く人たちが、心を一つにして工事に臨んできたことによって築かれました。これからも、お互いの心のつながりを大切にしたい。また、安全を確保するためには集中力を高めることが必要です。それは安全が足し算ではなく掛け算で、たとえば100人の作業所で一人が被災すれば、掛け算で零点になるからです。自分が事故を起こせばみんなに迷惑をかけるという緊張感を常に持ち続けて欲しい。更に、不安全な作業を行わない為に、一人作業禁止を徹底させること。」を訴えました。このことは今年度のスローガンである『ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害』の趣旨と通ずるところがあります。

続いて行われた作業場の安全点検では、近接する「東武東上線に対する列車運行阻害防止」については建物からの飛来落下防止措置を、「墜落・転落災害の防止」については床端部や床開口部の開口部ゼロ対策の実施状況を、また「クレーン災害の防止」についてはPC部材の揚重及び設置の作業手順を確認しました。また、可搬式作業台の適正使用、火災事故防止対策、熱中症の予防対策の実施状況を点検しました。



写真1 朝礼で訓示を行う社長



写真2 作業場点検の様子